

第3回 草津市総合計画審議会

日時：平成24年10月31日（水）10：00～12：00

場所：草津市役所 8階大会議室

出席者：伊藤委員、嘉悦委員、北村委員、肥塚委員、小林委員、寺尾委員、中田委員、
深草委員、古川委員、山田貴子委員、山田正人委員（以上11名）

1 開会

●事務局 それでは定刻となりましたので、ただ今から第3回草津市総合計画審議会を開催させていただきます。本日は、委員の皆様におかれましては大変お忙しい中、当審議会にご出席を賜わりまして誠にありがとうございます。

さて、本日より新たな市民公募委員としてJ様にご出席をお願いしております。J様、恐れ入りますが自己紹介をお願いします。

●J委員 草津市に住んでまだ1年10カ月で、平日は大阪まで勤めに出ておりますので草津市のことはまだよくわからないのですが、以前に住んでいたところや大阪とこの草津市の違いを感じるところがありまして今回応募させていただきました。残り少ない任期ですけど、どうぞよろしく願いいたします。

●事務局 どうもありがとうございました。どうかよろしく願い申しあげます。本日の欠席委員は4人でございます。本日の終了時間は正午頃を予定しております。どうかよろしく願い申しあげます。

それでは、これより議事の進行を会長をお願いいたします。会長、よろしく願いいたします。

●会長 改めまして、おはようございます。それでは次第に従いまして議事を進行させていただきます。本日の審議事項は4点でございますが、ご覧いただいたらわかりますように、とりわけ3点目と4点目でいろいろ議論をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

2 審議

(1)第2回草津市総合計画審議会の主な意見について

●会長 それでは第1議題の「第2回草津市総合計画審議会の主な意見について」ということで、事務局のほうから説明をお願いします。

——（事務局より資料説明）——

●会長 前回の審議会の意見のまとめと議事概要でございます。最初に「主な意見とその

対応について」ということで、当日の審議会での意見とその対応と審議会後の事務局の対応を、「○」と「→」で分けて整理していただいています。この内容についてご質問がありましたらお願いします。とくにないようでしたら、「主な意見とその対応について」はこれで確認をさせていただいて、これはまたホームページに載るということです。

——（委員一同了解）——

●会長 続きまして補足資料の「議事概要」ですが、何か気になる表現等がございましたらご意見をいただきたいと思います。今思いつかないということで後で気になる表現がありましたら、ここ一両日ぐらいで事務局に伝えていただければと思います。この件は確認させていただいたということで取り扱わせていただきます。

——（委員一同了解）——

(2)草津市の現状と課題について

●会長 それでは審議事項の2番目「草津市の現状と課題について」ということで、事務局から説明をお願いします。

——（事務局より資料説明）——

●会長 それでは「草津市の現状と課題」を22年度と23年度の取組み、課題の認識、目標達成度、市民満足度、市民重要度というところでこのような形でまとめていただいています。この内容につきましてご質問があればお願いいたします。内容の理解に関わってでも結構ですし、これはこういう評価でいいのかということでも結構です。ご意見がありましたらお願いします。

●B委員 前回はアンケートの有効性に関して質問をさせていただいたのですが、重要度と満足度のアンケートをされているということで、達成度・重要度・満足度の3つのカテゴリーは、基本方針は57項目あるのですが、その3つ並べて回答をお願いされているのでしょうか。

●事務局 各年度に行っています市民意識調査ですが、B委員がおっしゃるとおり57あります基本方針単位で重要度と満足度を測る項目があります。目標達成度についてもその一部を市民意識調査の結果に基づいて算出していますので、57の重要度、満足度の質問項目とは別途、達成度の確認のための質問項目を設けています。

●B委員 質問項目は膨大な数で合計150か160になると思うので、回答される方がどこまでその項目を理解して回答されているかちょっと疑問をもったのです。われわれはベースデータとしてはこれしかないので、どこまで数字的に信頼できるのか疑問を感じて質問させていただきました。

●事務局 質問項目でございますが、それぞれの基本方針単位での重要度、満足度の確認、その他の質問項目もございまして、質問項目としては多岐にわたります。調査票に書いていただく質問のページは5ページにわたります。それぞれの基本方針単位での満足度と重要度を測るということで、それぞれの基本方針でこういった取組みを市として行っているのか、そういった基本方針の概要についても参考として付けたうえで回答いただいているところでございます。

●G委員 私は前回も少し意見を述べたところですが、目標達成度の数値のみで判断するのは非常に危ない点があるので、こういった形で少し違う指標を並べて判断できるような形は、もちろん調査の精度も問題になると思いますけれど、いくつかの視点で見るということは非常に重要なのではないかと思います。

私は「安心が得られるまちへ」を中心に見てきたのですが、例えば4ページの7番「長寿・生きがい」を見ると、目標達成度は100%でA評価、上がってきているように見えるのですが、市民の満足度評価ではC評価になっていて、少し評価が分かれる部分があります。8番は逆に目標達成度もC、市民満足度もCで、あまりよくはないのですが一致しています。評価が分かれているものについては、とくに7番は目標達成度は100%だからいいんだと考えるのではなくて問題もある可能性があると思います。なかなかその差を見いだすことは難しい点もあろうかと思うのですが、少し注意をして見ていく必要があるということを示しているのではないかと思います。

●会長 現状と課題について3つ並べて評価があるわけですが、それは次の議題の施策体系を見直すということにも関わっているという、そういう関係になっていますので、今いただいた点が第2期基本計画策定に向けた見直しに深く関わっているという点でも、現状と課題をどう見たらいいのかというのをきちっと私たちは確認しておく必要があるかなと思います。

●K委員 この市民意識調査は、市民3,000人のうち、18歳以上の市民を年齢、居住地域の2段階による層化無作為抽出されて、回答率が31%と34%あるのですが、そのなかにも年齢の層があると思うのです。そのへんは出ているのですか。それとも年齢層はわからないのですか。

●事務局 回答いただきました調査票のなかには、回答された方のお名前は頂戴しておりませんが、男性女性の別、年齢は回答いただいております。

●K委員 年齢層のなかでどこの層の方が回答率が高いというのがあると思うのですが。

●事務局 23年度の調査結果では、回答いただいたなかで最も多い割合を占めるのが60歳から69歳までの方で、全体の23.2%を占めています。逆にいちばん低いのが80歳以上の方で5%となっています。

詳しくいいますと、男女別は男性が 51.7%、女性が 46.8%、無回答が 1.5%となっています。年齢区分による割合は、調査は 18 歳以上の方を対象としていますので、20 歳未満の区分がありますが 18-20 歳未満が 2%、20-29 歳が 7.8%、30-39 歳が 15.6%、40-49 歳が 15.3%、50-59 歳が 12.1%、60-69 歳が 23.2%、70-79 歳が 14.1%、80 歳以上は 5.0%、無回答が 4.9%となっています。

●会長 それなりにばらけていますが、上のほうの年齢の方の回答が多いということです。

●C委員 平成 23 年度の目標達成度ですけれど、これはたぶんそれぞれの項目ごとの目標達成度を単純平均した数値になっていると思うのです。その一つひとつを見ると 0%のものもあり 100%のものもありというなかで、果たして単純平均した数字だけを見て、A とか B とか、矢印での評価はわかりやすいと思うのですが、それでいいのかなと疑問に思うところです。とくに母数が同じでその回答に対しての加重平均とかそういうのだったらわかるのですが、例えば待機児童数は目標を 0 にしているのに 0 にできなかったから達成度が 0%、それをまた単純平均してこちらの数字に出しているというのは、そのまま数字だけを評価してしまえば間違っただけになるのではないかと思うのです。そうかといって数字で表す以上はこうせざるを得ないという事情もわかりますけれど、そのへんはどうなのでしょう。あまり数字ばかり見てしまうと……。それよりも逆に、達成度は A であっても満足度は下がっているとか、そういうところを重要視したほうがいいのではないかと思います。

●事務局 ご指摘いただいておりますとおり、それぞれの目標達成度については基本方針の単位で 57 項目とっております、今回の資料はそれを分野ごとに単純平均をしておりますことから、前回 G 委員からも、数字ばかりを見てしまうと取り違える可能性がある恐れがあるというご指摘をいただいているところでございます。

各目標達成度につきましては、前回の資料で基本方針ごとの達成度、あるいは施策の取組み内容等についてご覧いただき、本市としても把握しているところでございます。また、市民意識調査につきましても、今回こちらの資料では分野ごとに平均してまとめたものとなっていますが、データとしてはそれぞれ基本方針ごとにポイントをとっております、次の施策体系の検討のなかでもそのあたりは勘案して判断をさせていただいているところでございます。

本資料といたしましては、前回お示しした評価の資料もございますが、別途分野単位で大きな視点で概観いただくという意味で取りまとめたものでございますので、直接今後の施策体系の検討等につなげるためのデータといたしましては、個別に見たなかで一つの側面として捉えながら、さらに基本方針とか施策の単位での評価実績、あるいは市民さんの評価も踏まえたうえで検討しているところでございます。

●B委員 先ほど話が出ました 7 番「長寿・生きがい」ですが、ここでは目標達成度が 100%にもかかわらず満足度評価は C になっています。こういう項目はほかにもありますけれど、目標達成度というのは目標設定の数字いかんでかなり変わるわけです。ここではどちらを

重要視するかという、満足度が市民の声としていちばん重要ではないかと思います。達成していないから満足度が低いという理解をすれば、目標の数字を変えるということ、要は達成度を下げることが必要ではないかなと思うのですが、これに関していかがでしょうか。

●会長 その点につきましては、これは第1期の目標との関係でこういう数字になっているということなので、まさに今B委員がいただいていた点についてわれわれは留意して、第2期の計画を立てるときにこういう目標にすべきではないかというのを、第2期のところで具体的に数字が出たときにはそれでまたご意見をいただく必要があるかなと。それは現状と課題の数字が、これは100になっているけれど市民満足度がCだというのは目標の設定の仕方が適切であったのかとか、そういう議論に当然なるので、それは第2期のところでぜひ意見をいただきたいなど。

これについては立てた目標との関係でこうなっているということで、そこにギャップがあると。いろいろなことにはギャップがあるのですが、ここは評価委員会ではないので、ギャップを意識しつつ第2期の基本計画のところでどういうふうに目標設定を具体的に立てていくのかということでもたまたま議論する必要があるかと思います。ぜひ4回目、5回目のところで、これもまた参照しながら目標の数字のところは同じくらいになるかもしれませんが、ぜひそういう意見をちゃんと見て私たちは意見交換したいなと思います。

●K委員 高齢の方の回答率が高いので、この評価なり満足度なりがその層の方の満足度が出ているということになりかねないので、平均的に人数を合わせて評価したほうが良いと思います。

●会長 このデータの信頼性というか、見方にはいろいろなバイアスがすべてかかるわけですから、そのバイアスはきちっと精査していただきながら目標値の設定もきちっとしておく必要があるかなと。当然、市民の満足度は大変重要ですけども、重要度と満足度と施策をどういうふうに立てるべきかというのは多角的に検討しながら、重要な項目ではありますけれどもそれがすべてではないということもありますし、またデータのバイアスもきちっと補正しながら検討していく必要があると思います。これは今後議論するときのベースになるようなものですから、また立ち返っていただくこともあるかと思いますので、よろしくお願いいたします。

●H委員 数値以外のところで、真ん中の文章で書かれる「現状推移、現状、主要な課題等」には、アンケートの声が直接反映されている部分はあるのでしょうか。アンケートを踏まえて分析された結果をそのまま記載されているのか、アンケートのなかで直接的にそういう声があったのを入れられているのか、そのへんはどうでしょうか。

●事務局 市民アンケートの結果は全庁的に情報共有を行っているところですが、こちらの資料に関しましては、その点も踏まえている部分もあるかと思うのですが、主に市としての取組みや現在認識している課題を記載しています。

●K委員 アンケートには数字に丸を付けるだけで、意見的な項目はなかったのでしょうか。

●事務局 市民アンケートの回答いただく部分については、選択制で数字に丸を付けていただくような形でお願いしています。ただ、ご意見として同封されるような形で個別に意見を頂戴している部分もございます。

●会長 ほかにご質問はございませんか。もしよろしければ、これで内容の理解はしたということにさせていただいて、先ほども申しましたが、また立ち戻ることもあるかと思えます。

(3)第5次草津市総合計画第2期基本計画の施策体系案(案)について

●会長 それでは審議事項の3番目「第5次草津市総合計画第2期基本計画の施策体系案(案)について」、事務局から説明をお願いします。

——(事務局より資料説明)——

●会長 ちょっと長かったのですが、これはきわめて重要ですので説明を丁寧にしていただきました。最後のロードマップとの照合は、前回どういう関係になっているのですかというご質問がありましたので、それとの関係で整理をしていただきました。ご確認いただければと思います。

第2期基本計画の策定は当審議会で審議する重要課題でございますので、いろいろな角度からご質問、ご意見をいただきたいと思えます。この色のついたものは、2年間アンケートをとって全然違う方が回答されたわけですが、それぞれの満足度、重要度はほぼ一致しているということで、データのバイアスということを先ほど申しましたが、そういう意味では信頼度があるのかなということがここから推測できるのではないかと思えます。市民アンケートの結果と、これまで市として進められてきた施策についての現状、課題、今後の方向性も加味した形で施策体系の変更ということで、こういう形で示していただいています。前回の提案と比べてそういう意味ではかなり抜本的な提案をしていただいたと理解しております。それでは、どこからでも結構でございますので、ご質問、ご意見をいただければと思います。

●I委員 今日いただいた補足資料の「総合計画第2期基本計画施策体系参考資料」にロードマップ事業名があがっているのですが、これは決定ではなくて案としてあがっている事業名でしょうか。3番「教育・青少年」の項目3「学校施設の整備」のロードマップ事業名に「老上小学区の分離・新設」とありますが、老上学区のまちづくり協議会の方と市のほうがもめているという話を聞いていまして、確実に分離するか新設するかということに関しては地元の住民の方々の意識がまだ統一できていないということで不確定要素が多いみたいですが、これは案という形で捉えてよろしいのでしょうか。

●事務局 これはロードマップということで、市長が大規模校になった学校をどういうふうにして子どもたちにとって最良の学校にするかというなかで分離という考え方を示されて、今回ロードマップという形であげられています。合意形成は今も丁寧に地域の方々と議論を進めていますので、そういった経過を踏まえてきちっと事業展開していきたいと思っています。

●K委員 市のほうの施策名にはあがっているのにロードマップに事業名が書かれていないところがあります。そういうところは力の入れようが違うということですか。

●事務局 参考資料で示していますものは、あくまでもロードマップ掲載事業がこの施策体系のどこに位置づくかという位置図のようなイメージでございまして、これら以外にも各施策には当然現在市のほうで進めています事業がそれぞれに位置づけられます。ロードマップ事業の分布によって市の力の入れようが違うという意味ではございませんので、ご理解いただければと思っております。

●C委員 逆にいうと、ロードマップにあがっているものはすべてここに入っているということでもいいのですか。ロードマップ事業名が入っていないところも市としては力を入れてやっていくということですね。

●事務局 そうということです。

●会長 基本方針レベルでどういうものをあげるのか、施策レベルでどういうものをあげるのかというのが、先ほどの説明でありましたように、どこを重視しているかというのがわかるように全体としてはなっているのですが、一つひとつこういうくくりでいいのかということもありますし、名称が市民から見てもわかりやすいのかということも一つの視点かと思えます。もう一つは、こういうものが、先ほどの現状と課題の評価でもありますけれど、実際にやってどれだけうまくいったのか、あるいはうまくいかないのかという評価にも関わってくる。そうすると評価をするときにもこういう名称でいいのかどうか。貴重な市税を使っているいろいろな事業をされるわけですから、名称についてもそういう両方の角度からよりよい名称についてもご意見をいただけたらと思います。名称の問題、くくり方の問題、そういうところをいろいろな角度からご意見をいただければと思います。

●G委員 今、名称という話があったので、11番「生活安心」で私自身わかりにくいなと思ったのは、02の3に「公衆衛生の向上」という言葉があるのですが、私自身、公衆衛生を専門でやっているのですが、ここでいう公衆衛生はどういう意味なのか、この言葉だけではわかりにくいような気がします。中身としては8つの事業があるのですが、どんな事業でしたか。

●事務局 具体的に位置づけが予想される事業ですが、第1期の施策体系のなかで整理い

たしました「火葬場・墓地の適正管理」に含まれる火葬場や墓地の管理に関する事業もこのなかに含まれておりますし、「公衆衛生の向上」といたしましては、例えば害虫駆除事業、あるいは畜犬対策事業ということで狂犬病の予防接種、それと路上喫煙の対策事業、さらに本市が管理しています公衆便所の維持管理事業等が含まれます。

●G委員 かなり範囲が広いので、それをどういう言葉で表すかというのは難しいと思うのですが、今聞いている範囲では、「公衆衛生の向上」というのは、大きな意味ではそれで正しいのでしょうか、少しわかりにくいのではないかという気がします。もう少し具体的な中身のことがわかるような言葉のほうがいいのかなという気がします。

●会長 第2期基本計画の審議で事業も出てくるということで、その事業は何回目の会議で出てくるのですか。

●事務局 この施策体系に位置づく事業につきましては、現在事務局のほうで確認を行っておりまして、次回第4回審議会では基本計画案として掲げるなかでご覧いただける予定です。

●会長 次回はさらに各事業がどういう事業かというのがありますので、そのときにも、これでいいのかという、そういう角度から意見をいただきたいと思います。今見ていただいている範囲のところでご意見がありましたらお願いします。

●K委員 市民の意識調査の関係で、重要度、満足度の近接があったり離れているからというので分けたといわれたのですが、意識調査で目標達成度がCで市民満足度もCという場合は必然と施策が増えてくると思うのです。例えば8番「障害福祉」のところは評価もCで満足度もCだったのに施策が変わっていないのですが、増えていくのではないのですか。

●事務局 ご指摘いただいているとおり、施策体系の検討にあたっては施策見直しの方針として意識調査の結果に基づき重要度が低いものについては基本方針や施策等の分割も検討するといったことで、こちらは庁内での検討を経ておりますが、結果としましては、それぞれの事業展開のなかでの課題の発掘、あるいは事業展開によって満足度の向上を目指すものでございます。それぞれの体系の見直しで満足度が低いものについて施策を分割するという方針も一つございますが、そういった視点ももちながら他のさまざまな状況も勘案して、施策体系の分割等でその課題が解決できることが見込まれるようなものについては分割を検討したなかで進めております。一方、施策等を分割するよりもそれぞれの事業展開のなかでの満足度の向上を目指すといった方向が出ているものもあり、障害福祉の分野につきましては満足度が低いものですが、それぞれの事業展開のなかでの満足度向上を目指すという形にさせていただいております。

●H委員 9番「地域福祉」の基本方針名ですが、これは第1期に引き続き同じ「『地域力』

のあるまちづくり」となっています。「地域力」というのは人によって捉え方が違うと思うのです。「地域力」と聞いて地域福祉のことをイメージできるのかどうか、ちょっと疑問に思いましたのでお尋ねしました。

●事務局 表現につきましてご指摘として頂戴いたしまして庁内で検討させていただきたいと思います。

●会長 ほかにご意見がないようでしたら、これは次回もう一回審議の対象になりますか。

●事務局 次回はこの体系に基づいた基本計画案といいますかたたき台のご提示を予定しております。また、現在それぞれの施策に入る事業の検討もしておりますので、施策については今後も一部変更の余地はございます。

●会長 そうしましたら、さらにお気づきの点があれば1週間ぐらいで事務局のほうに寄せていただけますでしょうか。これは大切なことでもありますので、これから1週間の間で、ここはどういうことですか、これはこうしたほうがいいのではないかということも含めて事務局のほうに出していただくということで、これは取り扱いたいと思いますが、それでよろしいですか。

——（委員一同了解）——

●会長 それでは、そのように取り扱わせていただきます。

(4)リーディング・プロジェクトについて

●会長 それでは、審議事項の4番目「リーディング・プロジェクトについて」、事務局から説明をお願いします。

——（事務局より資料説明）——

●会長 それでは、リーディング・プロジェクトについて、課題と第2期基本計画における考え方（案）を説明していただきました。ご意見、ご質問があればお願いします。

●G委員 第1期に比べて第2期の考え方のほうがわかりやすいのかなという気はするのですが、お尋ねしたいのは、ここにリーディング・プロジェクトが3つあがっているのですが、この3つが選択された理由はどういうことなのか、あるいはこれからこれを決めていくということですか。

●事務局 リーディング・プロジェクトとして具体的に3つの案を明示しておりますが、こちらは前回事前にお配りした資料ではなく、今回の資料のなかでお示ししたものでございます。選択の経緯としては、庁内の会議でも議論がございましたし、そののちに第2期

基本計画が市長の任期ともリンクしていることもございまして市長も含めまして関係部長との協議によりまして、第2期計画で重点化すべき方針について選択をさせていただいたところでございます。

「草津川跡地の整備」と「中心市街地の活性化」につきましては、現在の市長の任期のなかでも重点的に取り組むということで明示されている部分でございます。「地域・テーマコミュニティの活性化」についても、総合計画全体を通して「協働のまちづくり」ということが位置づけられていますなかで、行政のパートナーとして地域あるいはテーマコミュニティの活性化を重点化するというをお示ししております。

●会長 今のご説明は経緯についてはそれなりに理解できるのですが、今のご質問は理由ということですから、理由につきましては、今はイメージ図というレベルですので今回示していただいたということで理解をしますが、第2期基本計画のリーディング・プロジェクトであるならば、草津市政の今後の4年間のなかでこれはリーディングなんだという理由を文章できちっと提示をしていただいて、市政全体の体系のなかでこれが重点なんだということがわかるような形で示していただく必要が当然あるかなと思います。次回はそれをもう一回私たちは議論する必要があると思います。それでよろしいですね。

●G委員 それで結構です。

●C委員 リーディング・プロジェクトを3つ選択されたのですが、先ほどの議題に戻るのですけれど、そのなかでの市民満足度とか重要度、見直しの優先度との関係はどう理解すればいいのですか。そこは切り離して考えないといけないものなのですか。

●事務局 先ほどの市民満足度、重要度等との関連はというご質問ですが、第1期基本計画のなかでは「草津川跡地の整備」と「中心市街地の活性化」については内部検討および準備段階という部分がございます。第1期の施策体系のなかでは施策という位置づけで事業を推進してきたところでございます。第2期にさしかかりまして草津川跡地の計画あるいは中心市街地の活性化については事業化に向けて大きく進展する段階となっておりますことから、基本方針レベルへの格上げという形のなかで事業の捉え方を明確にしようというのが一つの狙いがございます。

そういったことから、第1期の市民満足度、重要度という部分のなかには「“まちなか”の魅力向上」とかそういったところが評価としては一部として含まれておりますことから、第2期のなかで基本方針という形で出して、さらなる市民満足度や重要度の捕捉につなげていきたいと考えております。

●会長 施策体系のところでの関係は、格上げというか、そこに位置づけるという形での関連性で理解できるかと思います。他方で、今質問いただいた市民の意識調査との関係については、とくに関連づけてリーディング・プロジェクトを考えておられるのかどうか。そこまではされていないのですか。

●事務局 そこまでの関連づけができておりません。

●会長 関連しているのだったら関連している、していないのだったらしていないということで、もう一回整理していただいて、C委員からいただいた質問に半分は答えていただきましたけれど半分は不十分かなと思いますので、整理して次回お示しいただきたいと思います。考え方、位置づけに関わりますのでよろしくお願いします。

●C委員 まったく別物のようになってしまうと具合が悪いと思いますので、何らかの関連があるよということは示していただいたほうがいいと思います。

●会長 ほかに質問がなければ、気になっているところがございますので、1ページの「課題について」の2番の2行目に「波及効果を示す成果指標の設定が困難であったことから、リーディング・プロジェクトとして位置付けたことによる波及効果を明確に測ることができない」と書いてあります。そうしますと今期のリーディング・プロジェクトは波及効果を測定できるものとして設定していると、こう読んでしまうのです。果たして重点方針の波及効果を本当に測定できるのですかということ、私はにわかには思えないんです。もし測定できないのであれば書かないほうがいいと思います。波及効果は当然重要なので、それはそれで重視するということですが、測定というと量になりますから、量的なことまでは言及されないほうがいいのではないかと思います。位置づけとして、先ほどの理由との関係で、これは市政全体に大きな影響を及ぼす重要性があるということとして定性的にちゃんと書くことは必要だと思うのですが、物差しで測れるかのような表現は危険かなと思いますので、検討してください。

もう一点、3ページのイメージ図のところの「地域・テーマコミュニティの活性化」とあります。基本方針は「地域コミュニティ活動の活性化」と「市民活動の活性化」の二つだけかなと思うのですが、「地域・テーマコミュニティの活性化」はまだこなれていないなと。「草津川跡地の整備」と「中心市街地の活性化」は、これが重要だというのはみな知っていますからそれでいくのかなと思うのですが、「地域・テーマコミュニティの活性化」はこのままではちょっとこなれていないなというのがありますので、これはもう一回考えてほしいなと思います。

それでは、次回もう一度、先ほど施策体系との関連づけというご指摘もいただいておりますのでそういうことも含めて、リーディング・プロジェクトが第2期基本計画のなかでどういう位置づけと意味合いがあるのかということのをさらに展開したものを次回示していただいて、その段階でもう一度議論をさせていただくということで、方向性としてはとくに異論はないような感じでありますので、この方向でリーディング・プロジェクトを立てていくということを確認しつつ、さらに具体的なところでどうしていくのかというご議論を次回いただければと思います。それでよろしいですか。

——（委員一同了解）——

●会長 そうしましたら、4番目の議題につきましてはそういうような形でさらに深めた

ものを次回ご議論いただくという扱いにさせていただきます。ありがとうございました。

今日は4つ審議をさせていただきましたが、何か言い残したことがありましたらどうぞ。よろしいでしょうか。それでは、これで第3回審議会は終了させていただきます。どうもありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

3 閉会

●事務局 本日はどうもありがとうございました。なお、次回の第4回審議会につきましては、12月に開催を予定しております。スケジュール調整をいたしまして案内させていただきますので、よろしく願いいたします。

これをもちまして第3回草津市総合計画審議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。